

## 2020年度 事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

特定非営利活動法人なでしこ会

### 1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年でした。様々な行事が中止になり、当法人のイベント等もその多くを中止としました。利用者にも感染症対策への協力をお願いし、不確かな情報に惑わされないように過ごしてきました。

なでしこ共同作業所の運営は、利用者が行う内職作業が激減。また、これまで出店させていただいていた地域の各種イベントが中止になったことで販売収益も大幅に減となりました。不安がある中で、手洗い・消毒の徹底やパーテーションの設置など、感染症対策を施し開所を続けました。

一日の平均利用人数が前年度と大きく変わらないことから、利用者にとって規則正しい生活リズムを維持し、人と交流できる居場所としてのニーズがあることを強く感じた一年でもありました。

障害者生活支援センターこら～れの指定管理業務も同様に、密集や飲食を伴うイベントを中止しました。相談業務の件数や内容に新型コロナウイルス感染症の影響が大きく反映されることはありませんでした。

本年度の傾向として、他機関からの紹介で20～30代の当事者からの相談やサロン利用が増えたことがあげられます。気軽に出入りでき、人の気配を感じながらも一人で過ごすことができたり、相談もできる地域のスペースとして活用されています。

また、岡山・建部医療福祉専門学校から依頼を受け、生徒に向けて障害福祉サービスについて講義を行う機会もいただきました。

啓発事業・地域交流事業についても、計画していた事業を実施することができませんでした。

「ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り」は中止になりましたが、これまでの実績から岐阜県ボランティア・市民協働フォーラム(オンライン開催)に声をかけていただき、これまでの実践報告を行いました。

町内会や地域活動をより円滑に行えるようにパソコン操作の支援を行う「たけべのちっちゃなパソコン教室」は、マンツーマンの予約制教室としたことで、参加者の困り感の解消や事務作業の進展につながりました。

思うように事業を実施することができなかった一年でしたが、だからこそ気付いたこと、見直せたこともあった一年でした。

## 2 事業の実施に関する事項

事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1) 障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターⅢ型事業					
なでしこ共同作業所の運営	月～金 10:00～15:00	なでしこ共同作業所	指導員 5、ボランティア 16、家族会 1	障害当事者、関係者/約 100 人	5,030
2) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業					
特定相談支援事業所の運営	実施なし				
3) 公の施設の運営・管理に関する受託事業					
障害者生活支援センターこら～れの運営	月～金 9:00～17:00	障害者生活支援センター	職員 4、ボランティア 16	障害当事者、関係者/約 350 人	15,784
4) 障害保健福祉に関する啓発事業					
機関紙「なでしこだより」の発行	年 1 回	なでしこ共同作業所	職員 1	会員・関係者/約 150 人	2
Facebook による情報発信	通年	なでしこ共同作業所	職員 1	不特定多数	
5) 地域交流に関する事業					
夏のふれあいカフェ	実施なし				
第 12 回ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り	実行委員会: 7/31	実施なし			12
たけべのちっちゃなパソコン教室	年 11 回	建部町公民館	職員 1 名	地域住民 延べ 11 人	

## 3 実績報告

### 1) なでしこ共同作業所の運営

#### ① 利用状況について

		2019 年度	2020 年度
開所日数		235 日	238 日
登録者数		11 人	9 人
利用延べ人数		1,902 人	1,993 人
一日平均利用人数		8.09 人	8.37 人
平均年齢		63 才	64 才
平均工賃	内職賃金	32,973 円	43,667 円
	賞与	16,486 円	0 円
	合計	49,459 円	43,667 円

② 作業内容について

作業内容	取引先
アルミ缶回収リサイクル処理作業	新菱アルミテクノ
ペットボトル回収リサイクル処理作業	環境開発事業協同組合
資源回収団体報奨金収入	岡山市
園芸用木製チップの選別作業	タマタイ産業
草とり・落ち葉かき等の野外作業	友愛の丘
箸入れ・風呂敷折り等の作業	昭和製箸
ブルーベリーの収穫販売	入野農園
手芸品・さをり織りの製作と販売	たけべ八幡温泉委託販売 老人センター委託販売

③ 作業以外の行事等について

新型コロナウイルス感染症予防のため実施なし

④ 支援について

- ・メンタルボランティアさくらの会による支援:延べ 319 人
- ・なでしこ家族会による支援:延べ 51 人

2)障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

実施なし

3)障害者生活支援センターの運営・管理に関する受託事業

① 施設の運営・利用状況

内 容	2019 年度	2020 年度
登録者数	18 人	17 人
関わり人数(実)	66 人	70 人
開館日数	240 日	243 日
利用人数(延)	2,606 人	2,775 日
1 日平均利用者数	10.8 人	11.4 人
風呂の利用許可及び利用料の収納	149 回(実 2 人)	60 回(実 3 人)

② 建物管理について

- 建物に関する不具合と対応

施設の区分	損傷、磨耗、不具合の状況	対応状況
エアコン集中管理盤	液晶画面の不具合	業者による部品交換
勝手口ドア	親子アルミドアの劣化	業者による修繕

- 避難訓練(9月1日、3月29日)

### ③ 相談の状況

内容	件数	内容	件数
訪問	266	メール	7
来所相談	993	個別支援会議	23
同行	51	関係機関	643
電話・FAX	724	時間外対応	52

### ④ 基礎的事業

利用者活動	延べ参加人数	利用者活動	延べ参加人数
ボランティア活動(月2回)	中止	オープンキッチン(自炊練習)	2
ミニ交流会(月1回)	52	ボードゲーム等	0
お楽しみ会(月1回)	61	カラオケ	1
食事作り(月2回)	11	合同クッキング(年2回)	中止
ミニ作業(チップ選別作業)	77	忘年会(年1回)	9

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、大勢で集まる行事、飲食を伴うプログラムは中止した。

### ⑤ ボランティアの養成及び育成・組織育成

内容	件数	内容	件数
家族サロン	0	地域交流に関わる取組	30
家族会支援	12	協議会・運営会議等	50
ボランティア団体支援	32	吉備中央町関係	4
教育機関との連携	0	人材育成	2
サービス向上のための研修等	18	他事業所への指導等	0
広報・啓発	14		

## 4) 障害保健福祉に関する啓発事業

### ① 法人会員数

種別	2019年度	2020年度
正会員	38人	31人
賛助会員	68人	59人
合計	106人	90人

### ② 機関紙「なでしこだより」の発送

号数	発行日	掲載内容
38	2020年8月16日	総会報告

## 5) 地域交流に関する事業

### 夏のふれあいカフェ

■日 時	毎年8月最終金曜日を予定
■場 所	なでしこ共同作業所
■内 容	作業所を地域住民に開放し交流を深める
■結 果	新型コロナウイルス感染症予防のため中止

### 第12回ふくわたり・ふれあい・ふくし祭り

■実行委員会	1回（建部町公民館）
■日 時	毎年10月に開催予定
■内 容	誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりとして、地域と福祉事業所が協働して交流イベントを開催する。
■結 果	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
■備 考	12月3日、岐阜県ボランティア・市民協働フォーラム（オンライン）で事例発表を行った。

### たけべのちっちゃなパソコン教室

■実 施	11回
■参加人数	11人（実5人）
■内 容	Microsoft Word・Excel、スマートフォン、ファイル整理方法
■目 的	地域活動団体の事務担当者のパソコン操作を支援する。事務に時間や労力をとられて積極的な地域活動ができない、新たな取り組みに挑戦する余裕がないと言った課題を解決する。
■成 果	新型コロナウイルス感染症予防対策として講師と参加者の一対一で開催した。個別の課題に対して納得いくまで取り組むことができ、満足度の高い教室を開催することができた。

### たけべ中学生だっぴ実行委員会

■実行委員会	6回
■日 時	2020年11月25日
■場 所	建部中学校 体育館
■参加人数	建部中学校2年生…24名 大学生…8名 実行委員会…8名
■目 的	中学生に対し、多様な価値観をもつ大人と交流する機会を提供する。
■成 果	「大人とコミュニケーションがとれたことが自信になった」といった感想や、地域に愛着を感じていると回答した生徒が事前は38%だったが、事後では75%に増加した。
■備 考	中学生・高校生だっぴサミットで事例発表を行った。 岡山県公民館連合会第6回研修会でアワード受賞館実践発表を行った。

## たけべ部実行委員会

■内 容	たけべ放課後だっぴを開催
■日 時	2020年9月30日
■場 所	建部町老人センター
■参加人数	建部中学生…21名 実行委員会…5名
■目 的	前年度のたけべ中学生だっぴ参加者の「また参加したい」という希望を叶えるため、気軽にだっぴを体験できる場として開催した。
■成 果	前年度にだっぴを体験したことで人の目を見て話すことができるようになった、大人と話すことが楽しくなったなど、一年経過しての成果を収集することができた。 またコロナ禍で行事が中止になる中、中学生の気持ちを表出する場となった。

## ESD・建部町で食品ロスを考える会

■会 議	5回
■内 容	コロナ禍による3～5月の休校により、家庭での食生活にどのような影響があったのか、建部町内の小中学校を通じて「コロナ休校中の食生活についてアンケート調査」を行い、結果を保護者・学校関係者と共有した。
■結 果	各家庭で行われていた工夫や苦勞を共有することができた。また、建部町地域では近所づきあいによる共助が発揮されたことがわかった。